

## 第6章 今後の各館の方向性

台東区立図書館は、4つの基本方針に基づき、調査結果などの利用者のニーズや現状の課題も踏まえ、以下のように取り組んでいきます。

### 1. 中央図書館

- (1) 利用者のさらなるニーズに応えられるよう、幅広い分野の資料を収集します。
- (2) 利用者の求める情報をよりの確に提供するため、参考資料の充実やレファレンスサービスの向上に努めます。
- (3) 区の各部署と連携を図り、図書館資料を活用して区の施策を広く情報提供します。
- (4) 図書館の利用を促進するため、利用率の低い若年層を中心に様々な媒体を活用した情報発信や、誰でも図書館を快適に利用できるような施設の整備に努めます。
- (5) 図書館における学習環境を充実するため、インターネット情報をあわせて利用できる環境の拡充を検討します。
- (6) 調査結果で要望の高かった電子書籍などの新たなサービスの導入について研究していきます。
- (7) 子供向けの事業の実施や子供の調べ学習に対する支援により、読書への興味や課題解決のために必要な資質を育みます。
- (8) 展示や講演会などで利用者によりわかりやすいテーマを選定するなど、台東区固有の歴史や文化を広く継承していきます。
- (9) ワークショップの開催など人とのつながりの契機となる取組みの充実や、ボランティア団体など地域との連携を進めていきます。

### 2. 分館・分室

- (1) 平成29年度の調査結果やアンケートなどを活用して、資料を収集していきます。
- (2) 利用者が求める情報を提供できるよう、基礎的な参考図書の実をを図ります。
- (3) 分館・分室で行っているイベントや特集などを積極的に周知し、利用の促進を図ります。
- (4) 更なる学習環境の充実のため、パソコンなどの電子機器と図書館資料を併用できる閲覧席などの整備や、改修工事などの機会を捉えた閲覧席などの増設を検討します。
- (5) 身体に障害のある方や高齢者も含む様々な方が図書館を利用できるよう、施設のバリアフリー化を図ります。

- (6) 子供が読書に対して楽しみや親しみが得られるよう、引き続きそれぞれの成長段階に応じた児童書の収集やおはなし会などの子供向けの事業を行います。
- (7) 台東区の歴史や文化に親しめるよう、台東区の歴史や風土、文化に関する入門的な資料を収集し特集などを行います。
- (8) 利用者の出会いや交流の場の提供、地域と連携する取組みを充実します。

※なお、各館においては以下のように進めていきます。

《根岸図書館（分館）》

- ・社会教育館との複合施設である特色を活かし、社会教育館が実施する事業への協力など、連携を図ります。
- ・老朽化が進んでいる根岸図書館の改修工事を行い、施設の保全とともにエレベーターの設置などバリアフリー化を図ります。

《石浜図書館（分館）》

- ・石浜橋場こども園との複合施設である特色を活かし、こども園が実施する事業への協力など、連携を図ります。

《浅草橋分室》

- ・台東区の南部地域に集積している卸小売業やIT産業で働く方、同じくこの地域に多い日本語学校に通う外国人学生の方に役立つ情報の充実を図ります。

《谷中分室》

- ・谷中児童館との複合施設である特色を活かし、児童書の充実、及び子供向けの事業を実施していきます。

### 3. まちかど図書館

- (1) アンケートなどを活用して、資料を収集していきます。
- (2) まちかど図書館の特色を周知し、利用の促進を図ります。

※なお、各館においては以下のように進めていきます。

《くらまえオレンジ図書館》

- ・小学生向けの資料や調べ学習に活用できる資料のほか、環境ふれあい館の特性に合わせ環境に関する資料を提供します。

《すこやかとしょじつ》

- ・乳幼児向けの資料や育児関連の資料を中心に提供します。

《東浅草なかよし図書館》

- ・小学生向けの資料や調べ学習に活用できる資料を提供します。
- ・土曜日・日曜日・祝日は地域住民に一般開放し、読書活動の推進を図ります。